

A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

会員用

Weekly Market Monitor

---コモディティ・金利編---

2025年5月23日データ迄収録

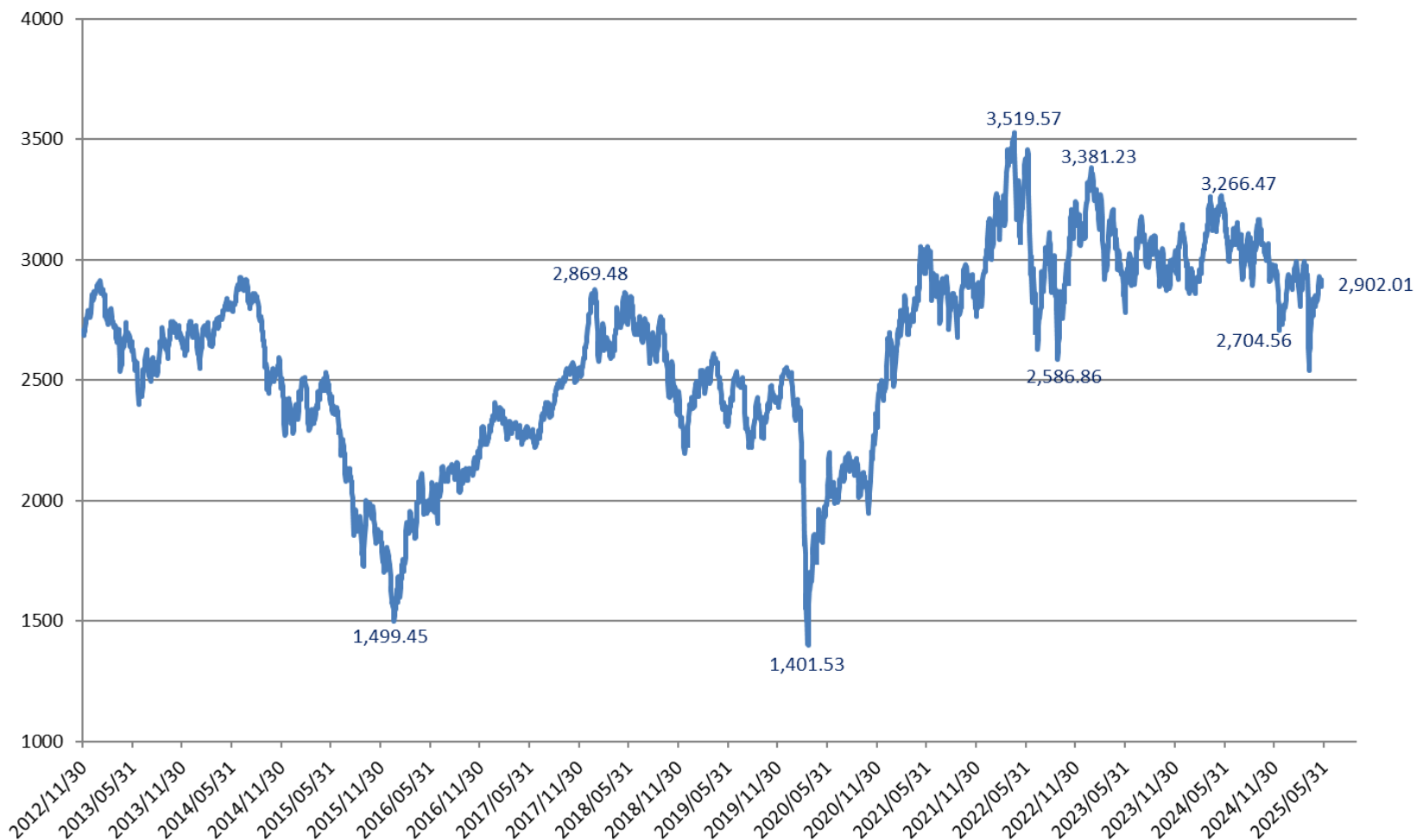
コモディティ指数は再上昇も頭打ち

CRB指数の推移
(対数)



天然資源株への期待度はレンジ内上下

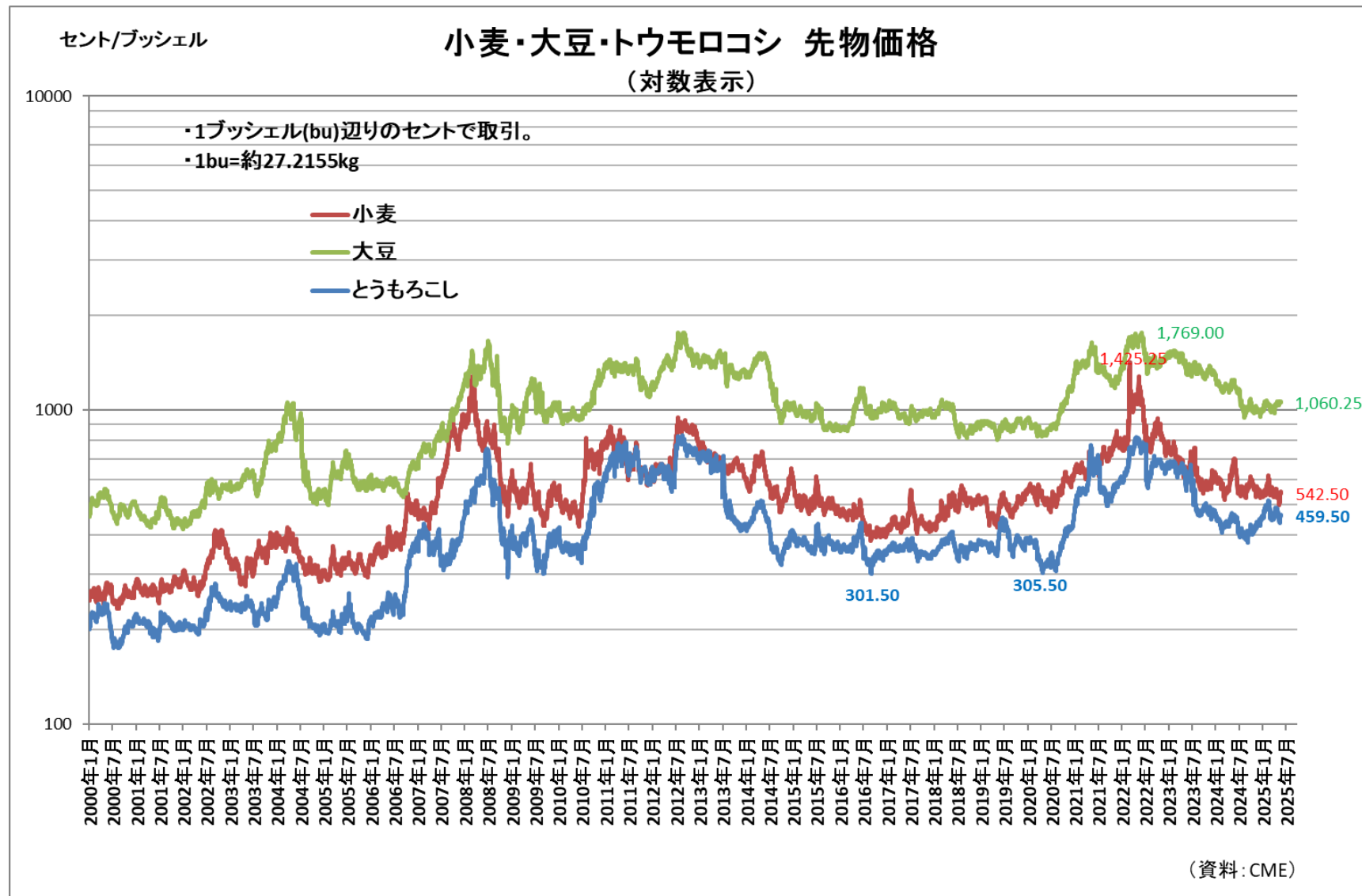
S&P天然資源株式インデックス



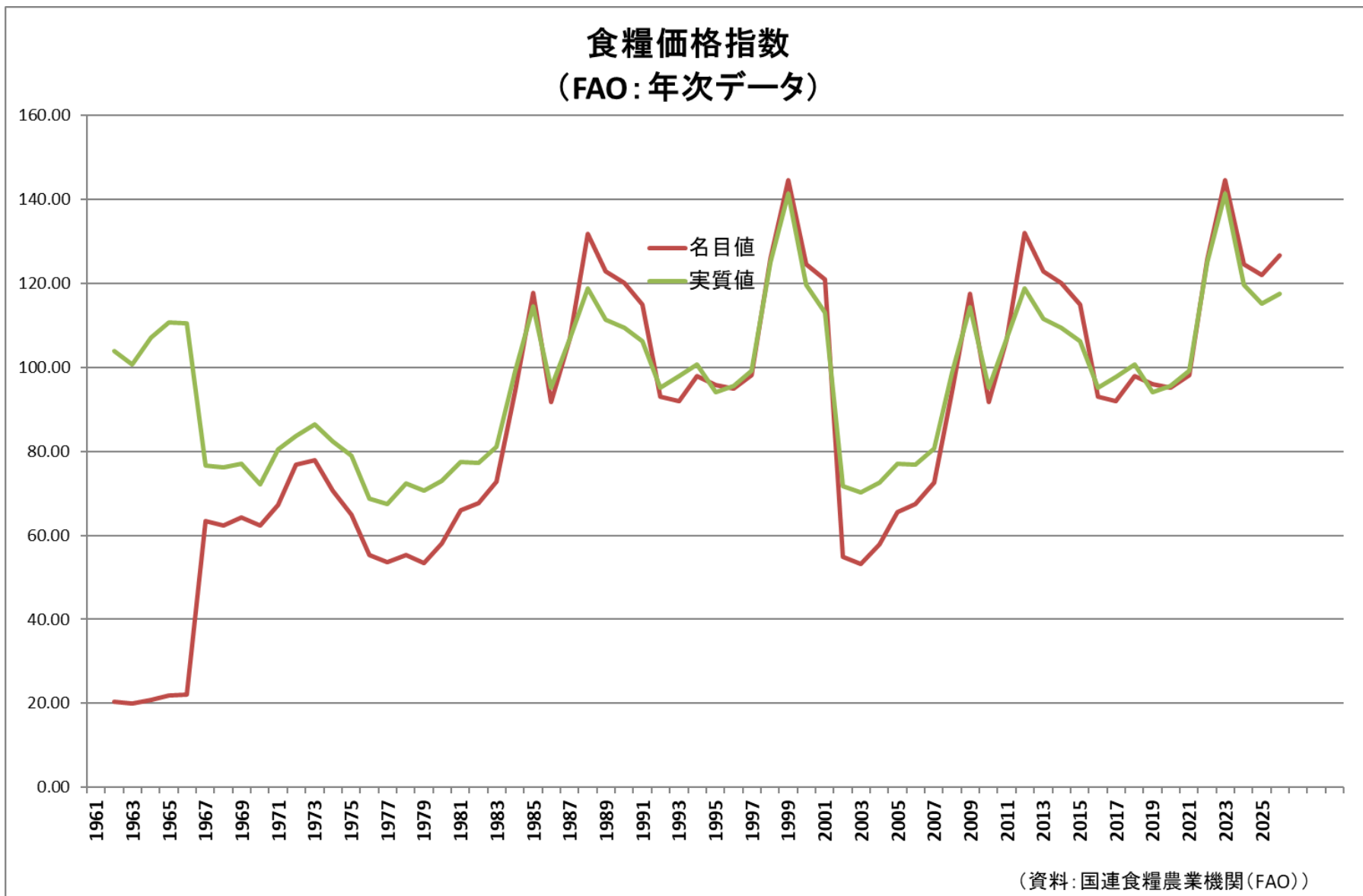
(資料:S&P)

穀物価格は、供給増の見通しで価格も安定

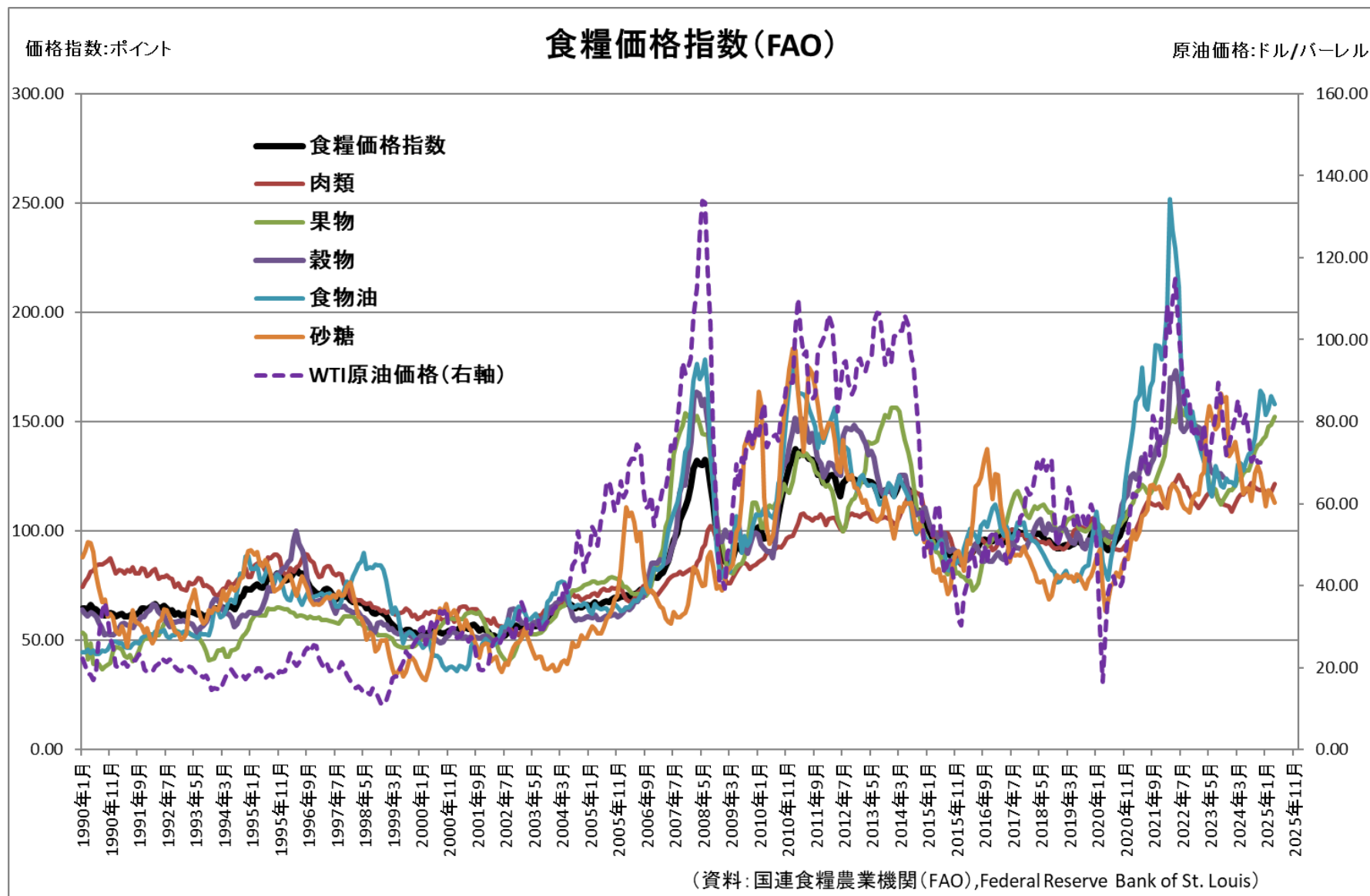
---原油価格の更なる高騰なければ、穀物のバイオ燃料転用需要は拡大せず---



食糧価格は名目・実質共に歴史的 high から後退



食糧価格は高値から低下も長期では高目の水準を維持



米国の原油生産は急増

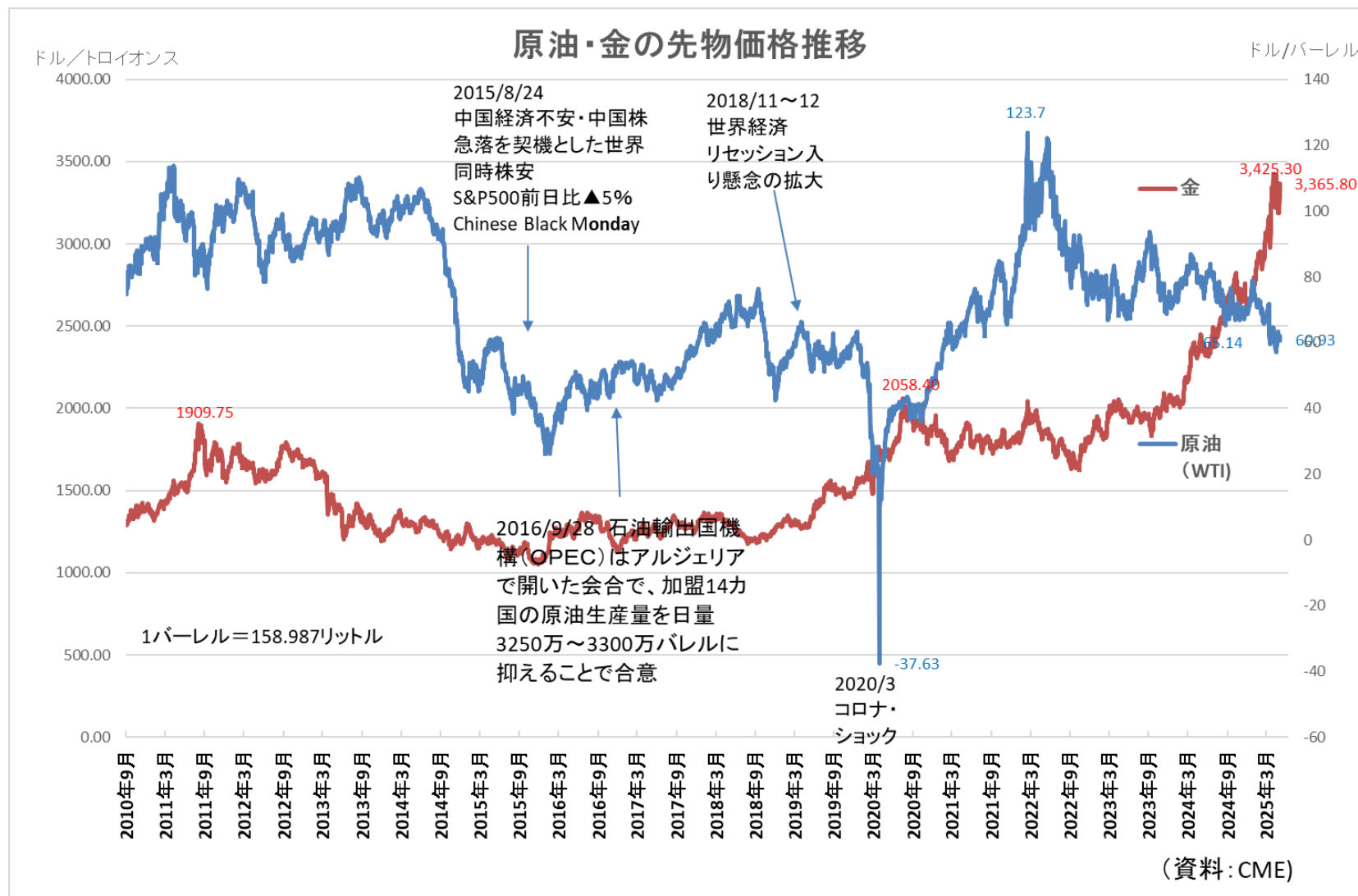
---既存の低生産コストリグがフル稼働で更に供給拡大---

米国の原油生産推移
(2025年2月確報まで)



世界景気減速を材料にWTIは低下バイアス

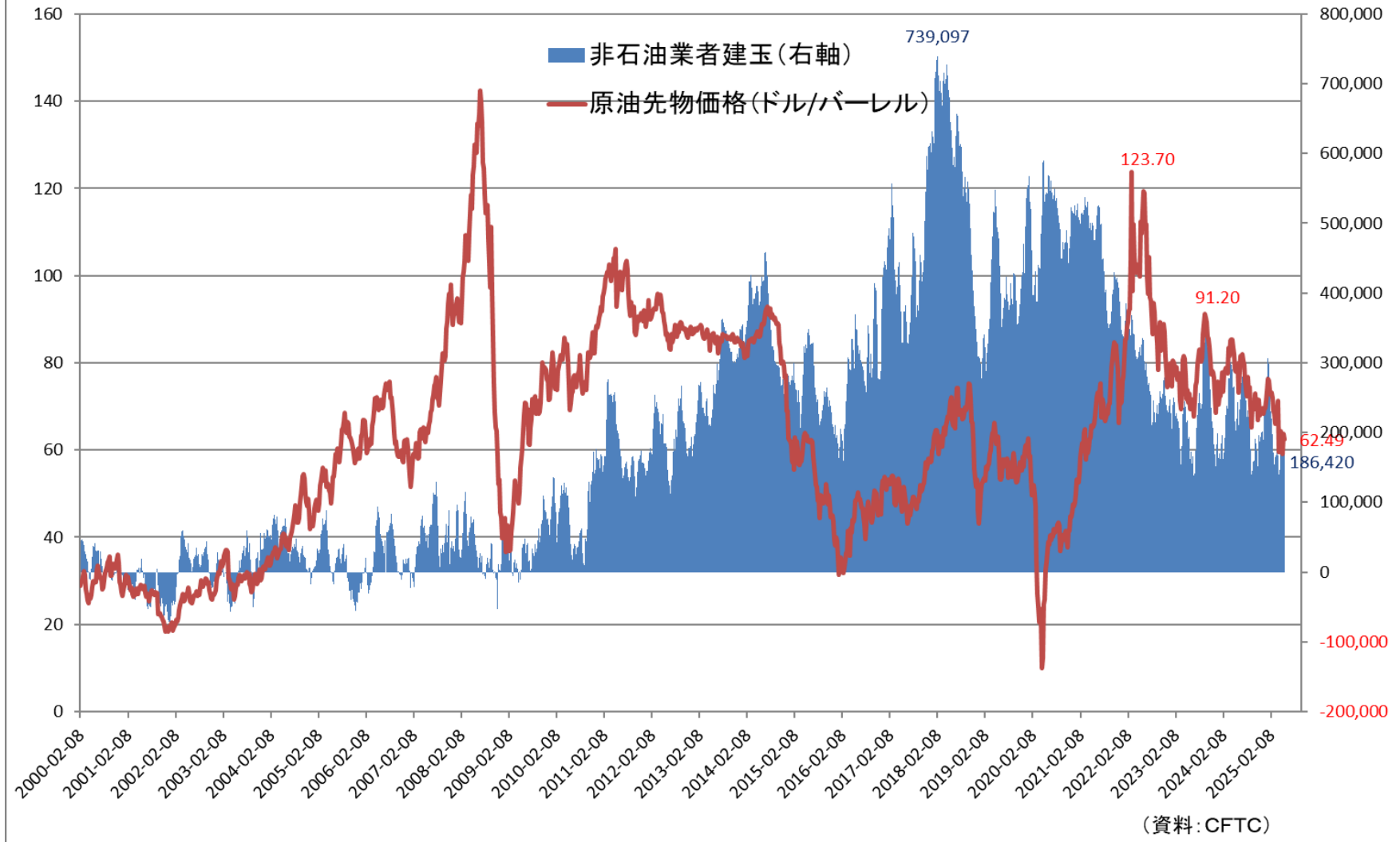
---OPECプラスの価格政策放棄・シェア拡大政策で需給緩和---



世界の投資家の原油先物ポジション

---関税引き上げ応酬で需要減退懸念拡大---

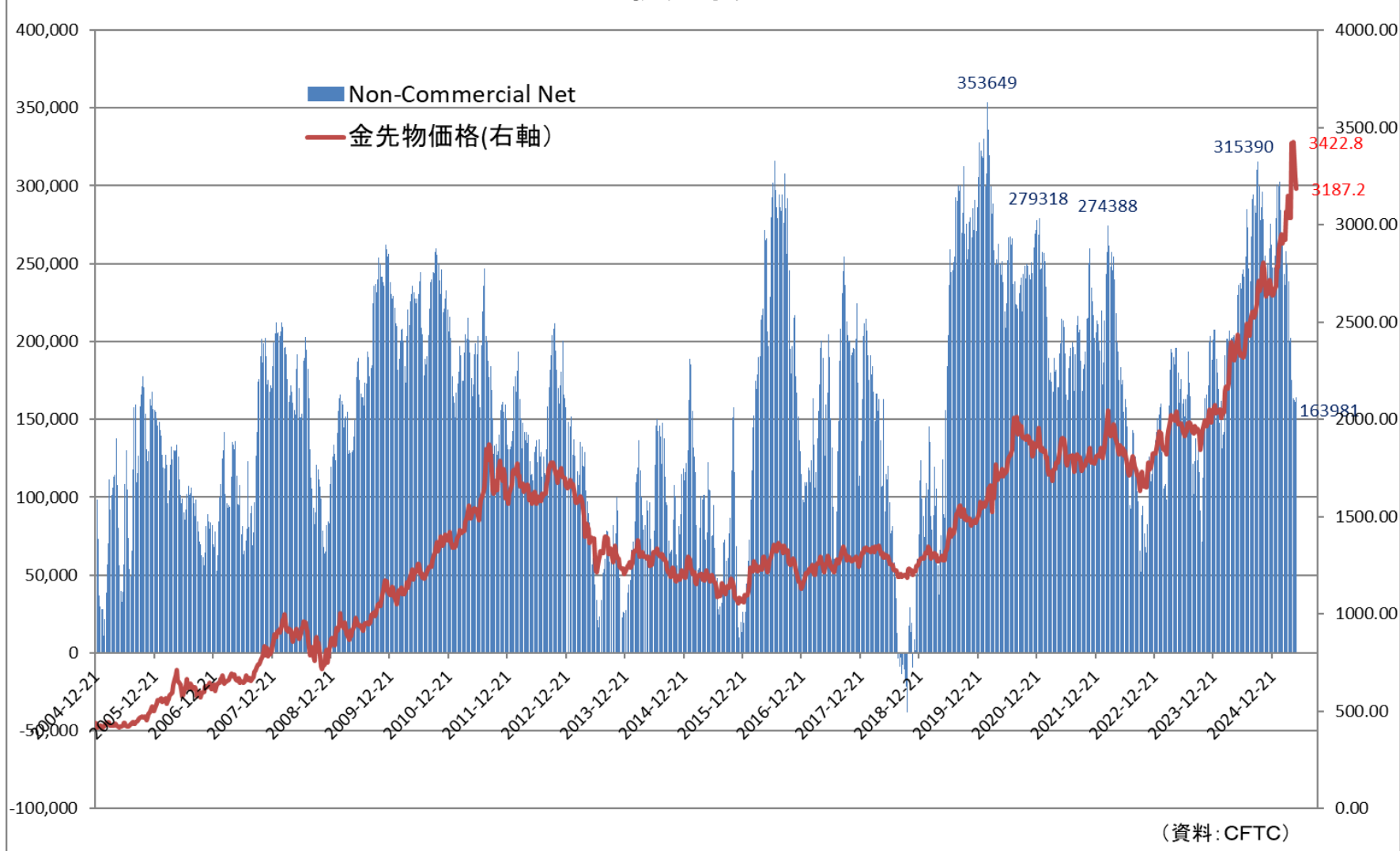
CFTC WTI原油投資家建玉ネット



世界の投資家の金先物ポジション

---金の買建ポジション高水準維持---

CFTC金投資家建玉ネット

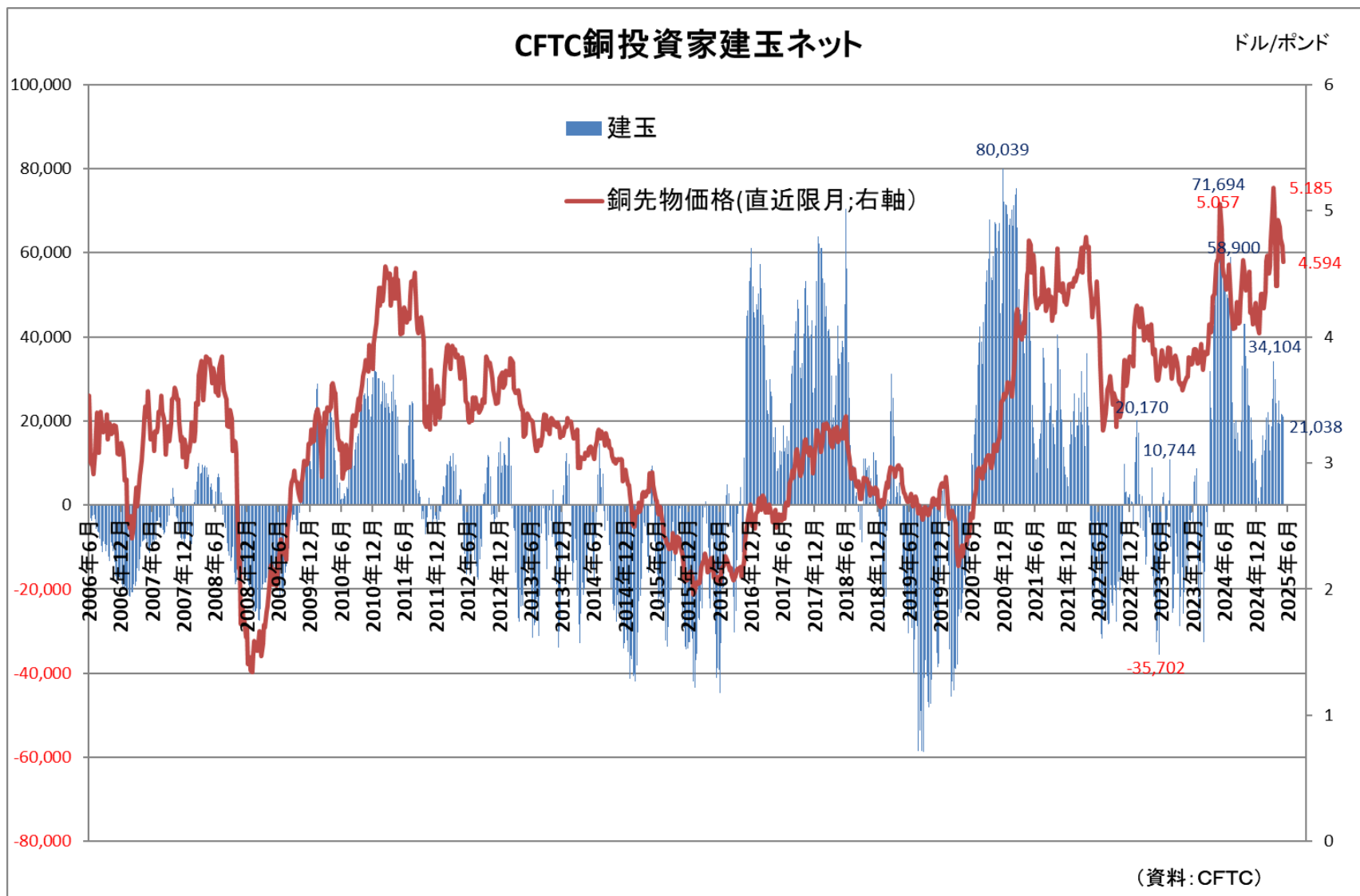


銅価格が2011年以降の世界経済の上下動を先に示唆 ---銅供給減と中国の景気対策に反応もピークアウト---



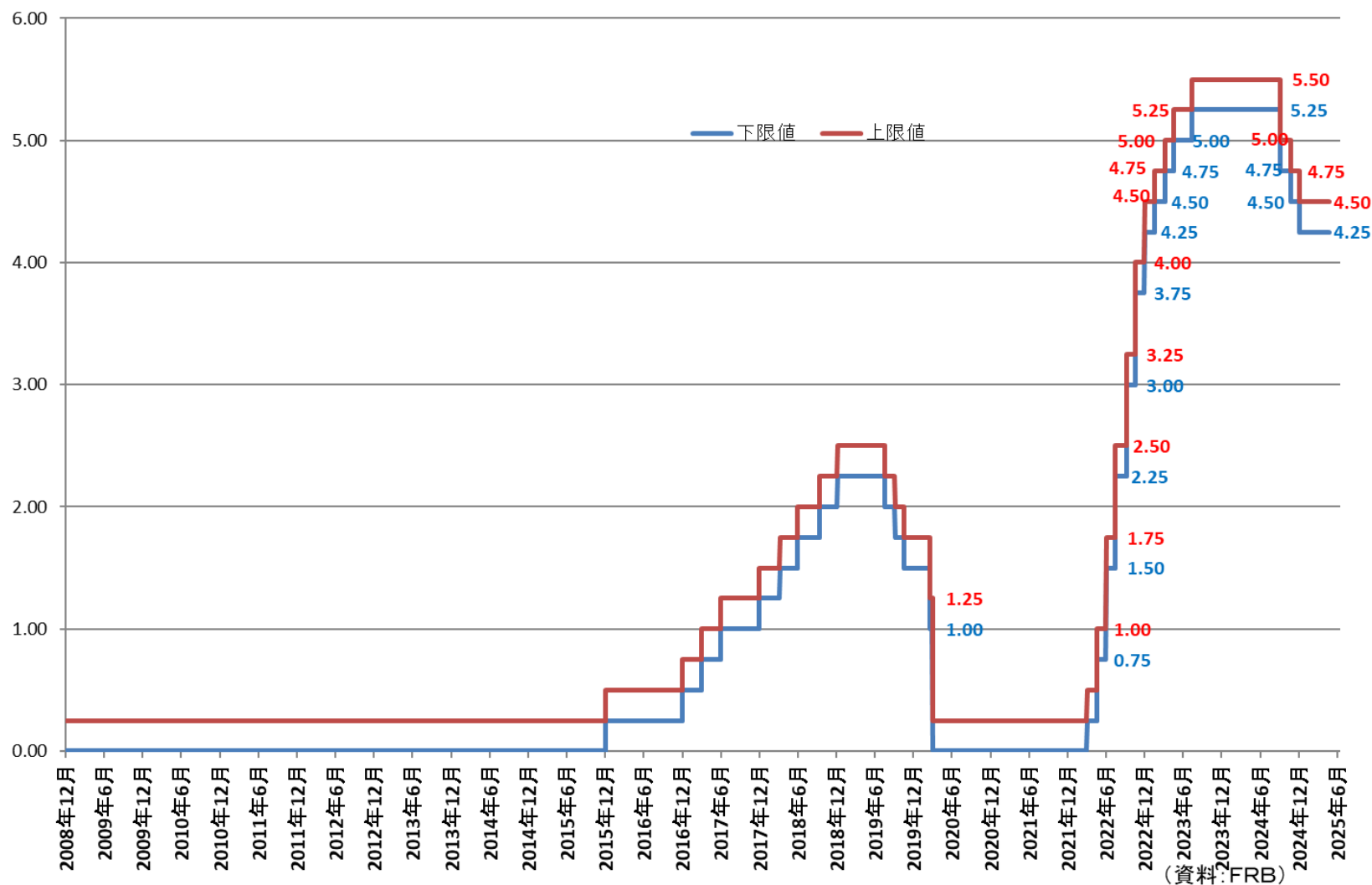
世界の投資家の銅先物ポジション

---買い建玉は伸びないが価格上昇で高速回転相場の様相も反転下落---



ドル政策金利動向

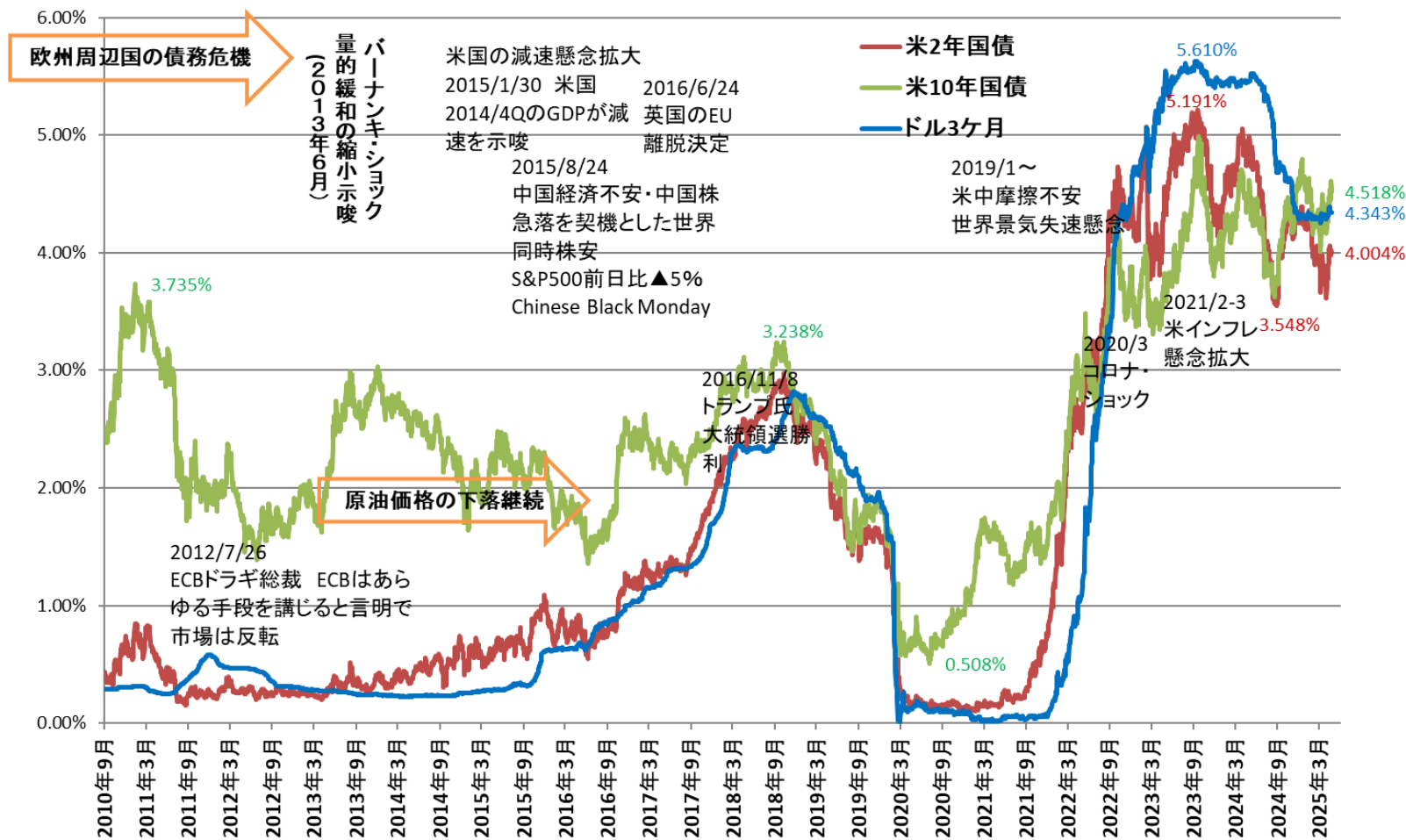
フェデラル・ファンド・ターゲット・レート



ドル金利動向

---景気鈍化観測で3か月-2年は逆イールドに---

ドル3か月, 米国債2年 & 10年

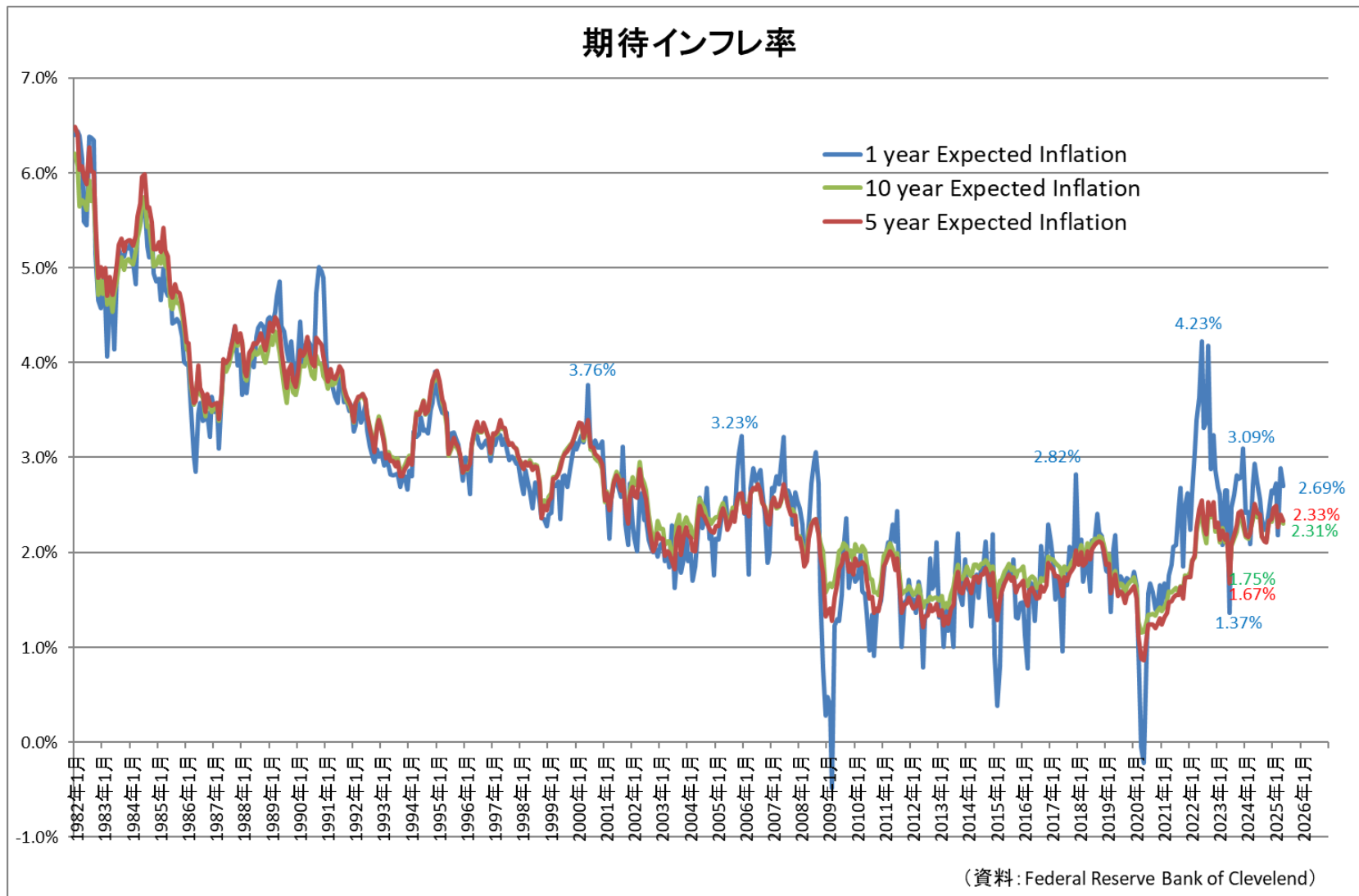


(資料: Bloomberg, Dow Jones, Ice)

---米経済指標堅調で2.2-2.5%のレンジ内推移も低下バイアス---

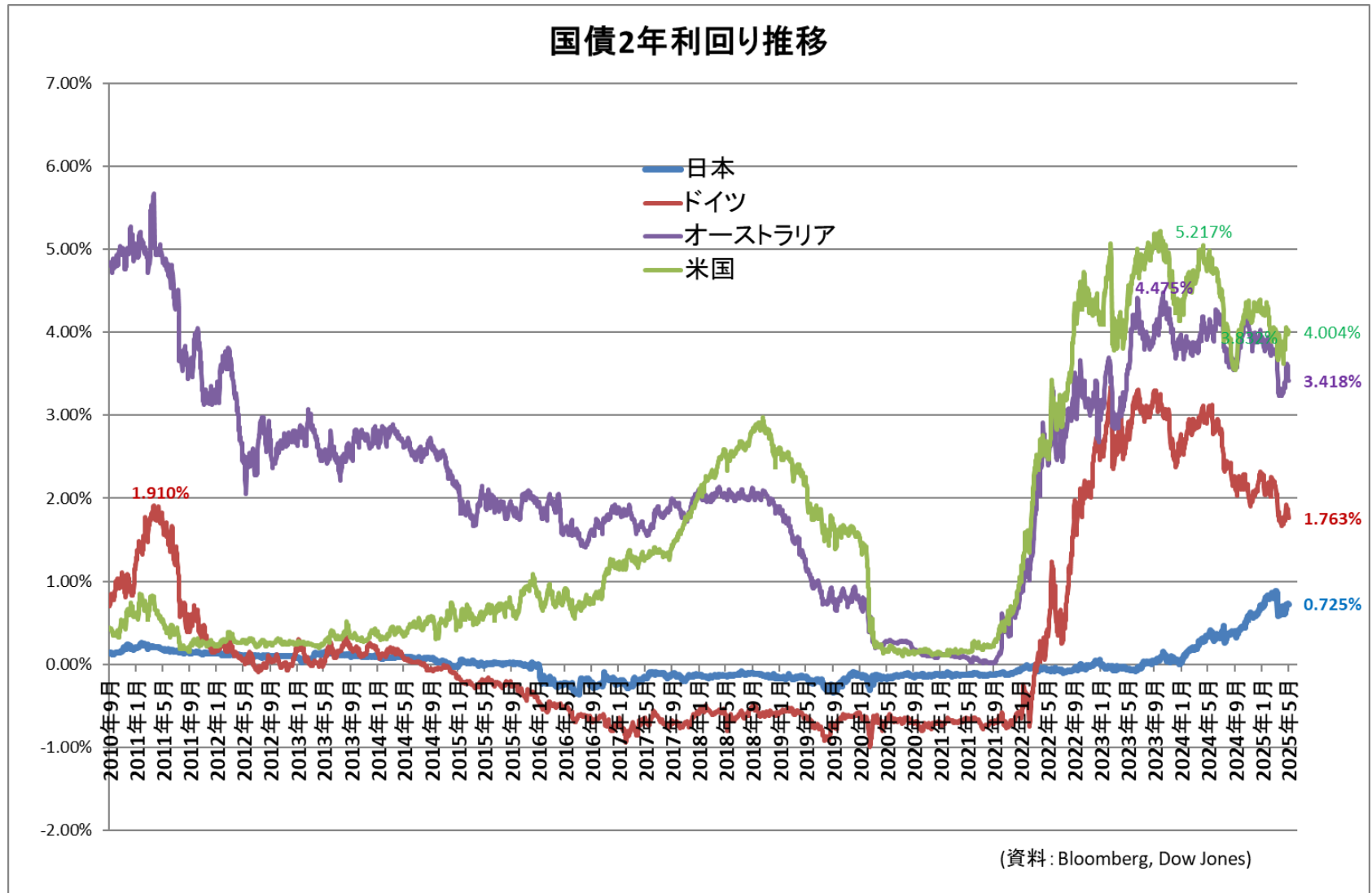


米国の期待インフレの上昇モメンタムは縮小 ---経済基礎要因を加えた期待インフレはレンジ内中央に---



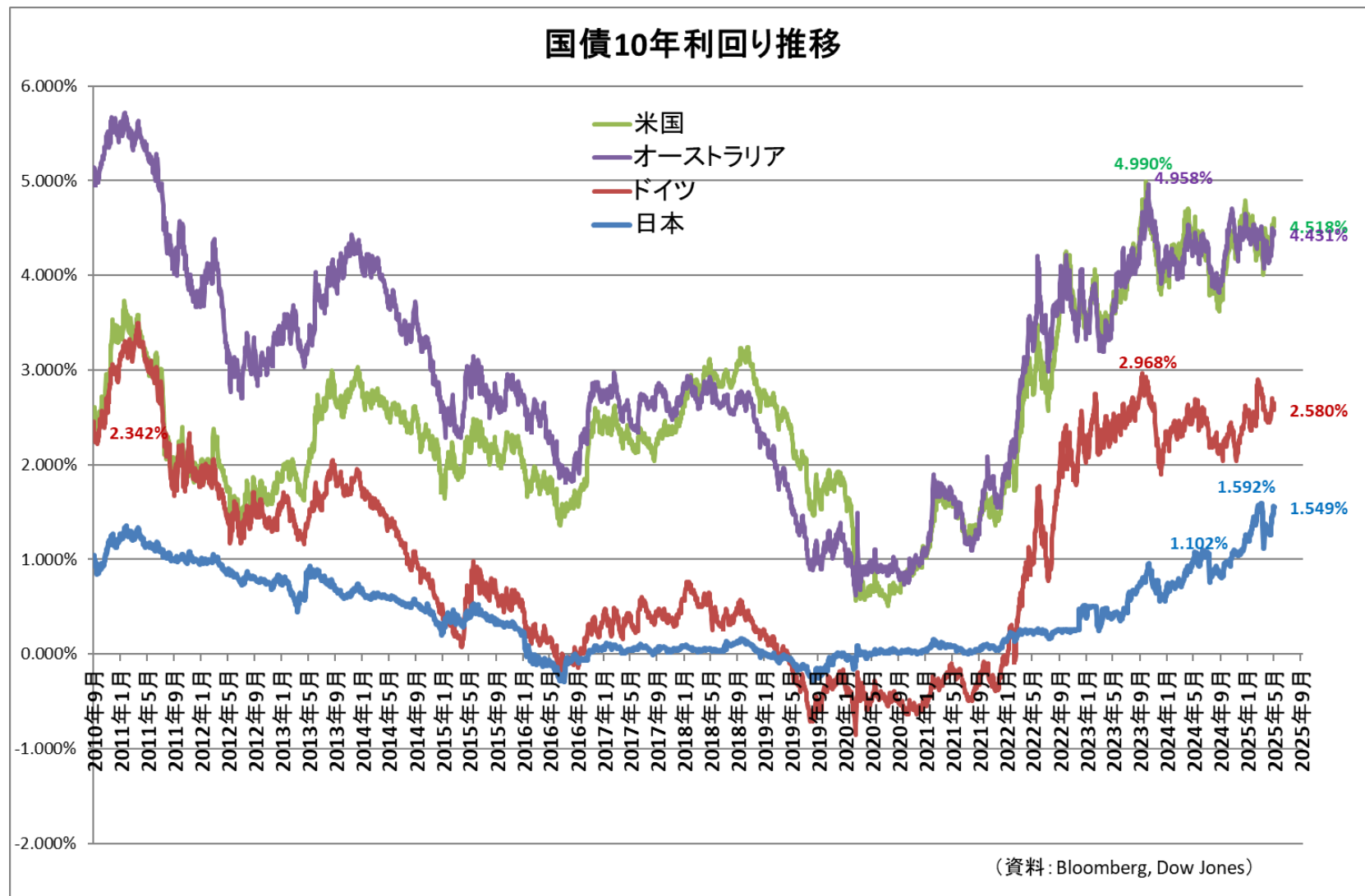
金利動向

---米景気減速観測から、景気堅調、そして再度鈍化シナリオに---



金利動向

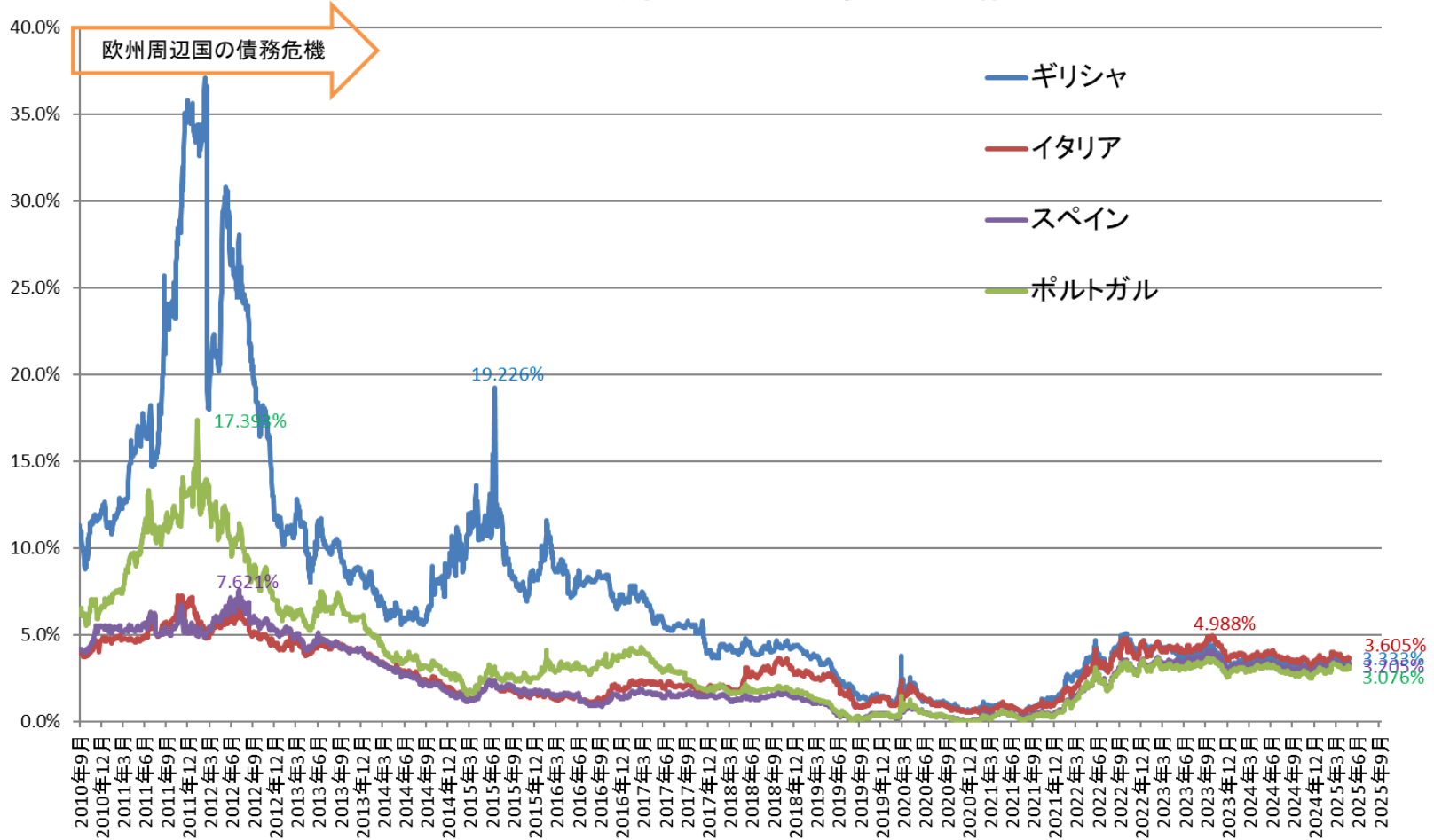
---米経済指標の堅調持続で金利も低下から反発---



金利動向

---欧州周辺国金利は水準は小幅上がったものの横這い---

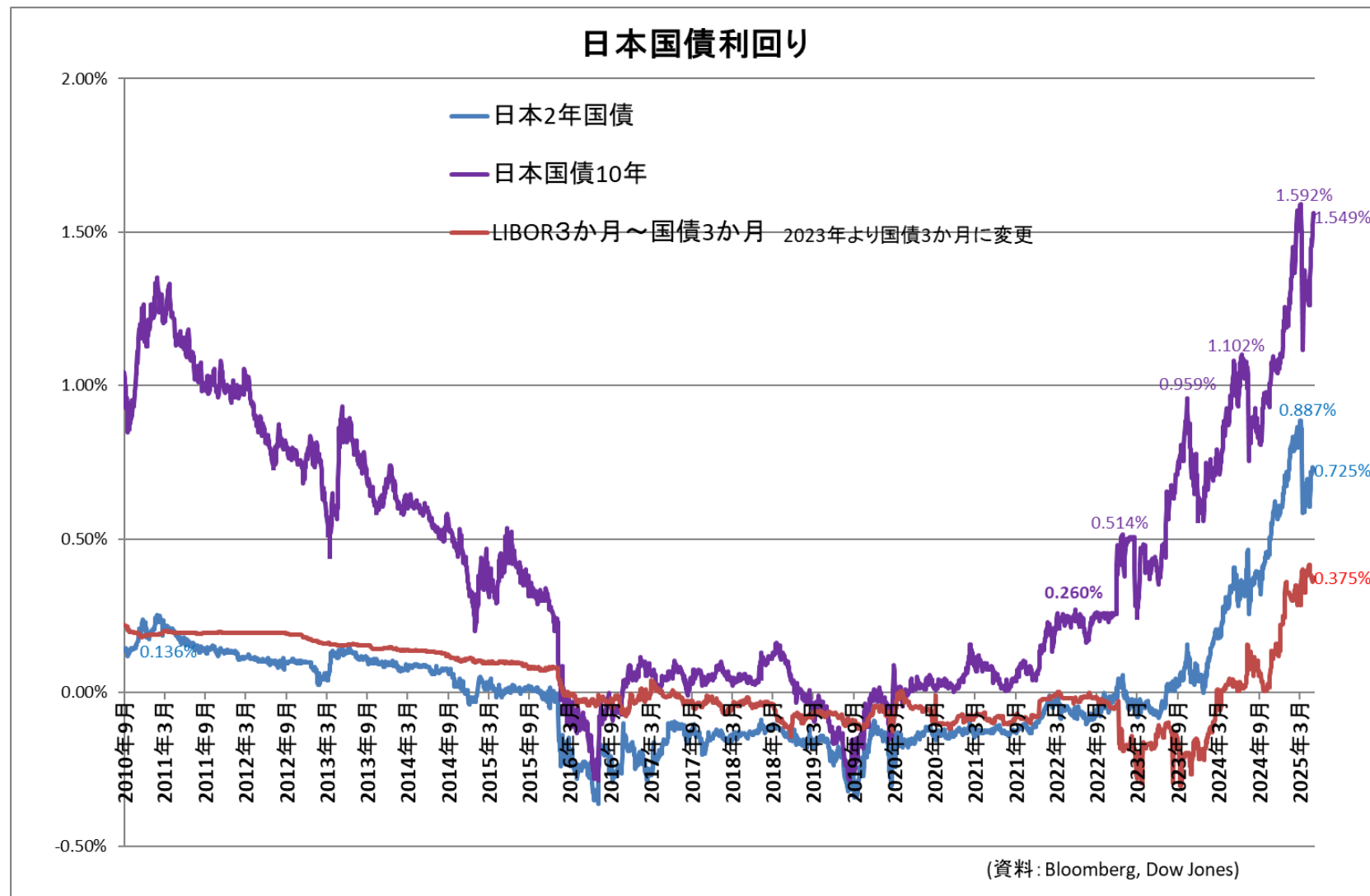
ユーロ圏周辺国10年国債利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

日本の長期金利も変動幅の変更で緩慢な上昇

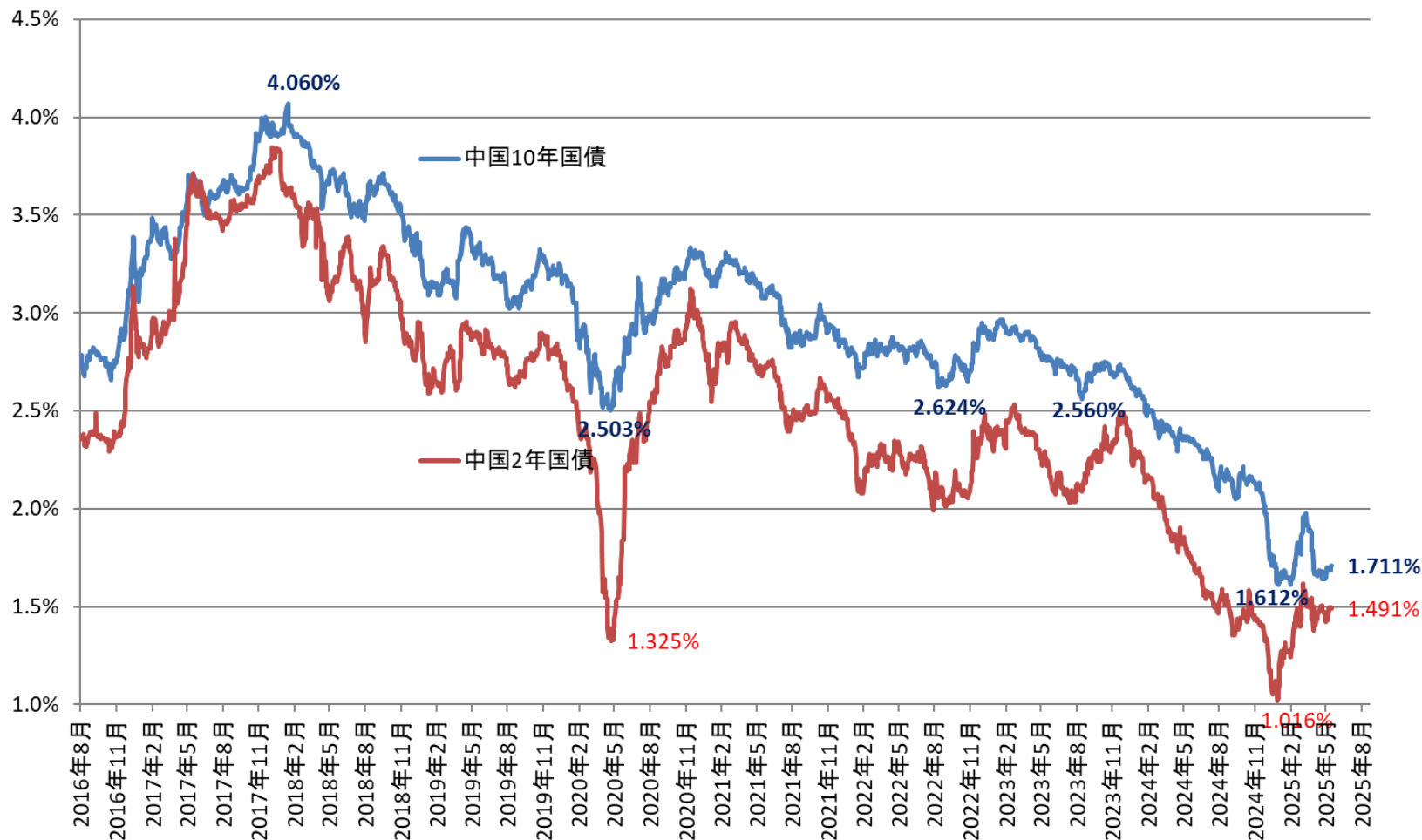
---金利正常化で市場金利は上昇バイアス---



中国国債は最低レベルから若干反発

---政府支出拡大による需要回復期待も減衰。10年国債は低位継続---

中国国債利回り最近の推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粹な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。